

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市久世西老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防型通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援事業・短時間型デイサービス）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

- ・通所介護、介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービスの提供（送迎・入浴・食事・機能訓練・レクリエーション・相談援助業務等の提供）
- ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
- ・通所介護計画・介護予防通所介護計画に基づき個々のご利用者に応じた日常生活自立支援を目的としたサービスの提供、個別機能訓練計画に基づいた個別機能訓練の実施
- ・レクリエーションでは「選択レク」（音楽・健康・制作・書道・外出等のサークルからご利用者が選んで参加）。コロナウィルス感染拡大防止の観点から外出は自粛する形を取ったが、代替案として当センター向い側にある公園へ機能訓練や地域社会への参加を目的に実施する。また心身機能の向上、日常生活の充実を図るとともに介護者に対する相談援助や関係機関との連携に努める。
- ・サービスの質を維持・向上する事を目的にサービス向上検討会議を隔月に開催、ユーザーアンケートによる意向調査、内外研修の受講等、継続的な取り組みを行う
- ・コロナウィルスの影響から自粛、開催頻度は減ったが、久世学区社協の役員会や総会、敬老会等への参加
- ・久世学区社協の障害者部会（わ）の会への協力、行事等は自粛となったが事務局として取り組みを検討する
- ・南区社協や久世地域包括支援センターとの連携
- ・地域住民との連携、活動の幅がもてるようボランティアの積極的な受入
- ・併設の児童館や老人福祉センターとの共同事業の企画・参加
- ・労務に関しては、職員が働きやすい環境に繋げる為の会議、検討する機会をもうけ、同時に年次有給休暇が取得しやすいような環境を整える
- ・長年、継続的に開催している「介護相談」の場を月に1回、当センター2階にある老人福祉センターにてケアマネジャーが継続的に開催

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

## 3 サービス提供状況

管理者：1名 生活相談員：2名 看護師：6名 介護職員：11名 機能訓練指導員：3名  
調理員：3名 運転手：3名 介護支援専門員：2名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規定により100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随時契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随時契約では、市内中小企業へも配慮し、見積もりも合わせて行っております。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 延べ利用人数(実績値)

5701 人

(2) 実利用者数(実績値)

557 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	55,904,909
利用料収入	3,672,384
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	60,877,018
収入計	120,454,311

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	81,186,489
事業費	15,971,184
委託費	0
小額修繕費	0
その他	23,292,716
支出計	120,450,389

## 6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・ユーザーアンケートの実施  
ご利用者、ご家族様宛に配布、または郵送し集計結果とご要望等に関する返答を職員間で検討し共有のもと配布する。

(2) 利用者満足度把握の結果

〈主な項目〉					
利用時間	: 満足76%	やや満足20%	やや不満0%	不満0%	無記入 4%
送迎	: 満足88%	やや満足 8%	やや不満0%	不満0%	無記入 4%
入浴	: 満足72%	やや満足12%	やや不満0%	不満0%	無記入16%
食事	: 満足64%	やや満足20%	やや不満0%	不満0%	無記入16%
機能訓練	: 満足40%	やや満足32%	やや不満4%	不満0%	無記入24%
レクリエーション	: 満足52%	やや満足24%	やや不満0%	不満0%	無記入24%
サービス全体	: 満足68%	やや満足12%	やや不満4%	不満0%	無記入16%

(3) 意見等への主な対応状況

・ユーザーアンケートに基づく集計結果を所内職員会議にて共有し、ユーザーアンケートの集計結果と改善方法についての検討を重ね、「要望に関する回答」という様式にまとめ、ご利用者、介護者へ配布する。

## 7 その他特記事項

(1)

- ・法人内施設にてブロック体制を組み①相談員②ケアワーカー③看護師④ケアマネジャー等、各部門に分かれ情報の共有、質の向上に繋がるよう機会をもうける。ブロック単位での研修も開催してきたが、コロナウィルスの影響から開催を自粛し事業所内での研修開催としている。
- ・チャレンジ就労の受入も柔軟に行っており1名を受入れ、その後、希望により職員としての雇用につながっている。
- ・柔道整復師との連携会議を重ね機能訓練の充実化を図り在宅生活継続となるよう努める。

(2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

- ・利用者の受入に関し、個別性に重点を置きニーズに応じて短時間での利用等、柔軟性をもち行っている。また、サービス向上検討会議、職員会議を通じてケース検討の場をもうけ、サービスの質の維持・向上に繋がるよう計画的、継続的に行っている。
- ・柔道整復師との連携会議も行い、検討を重ね機能訓練の充実化を図り当センター向い側にある公園等を活用した屋外歩行訓練を継続的に行う等、ご利用者のニーズや思いに沿った支援に繋がるよう解放感も保てる事業運営に努めている。
- ・月に1回、併設の老人福祉センターの一室でケアマネジャーによる「相談日」を継続的に開催し、地域への居宅の相談機能の発揮、関係構築にも努める。
- ・コロナウィルスの影響により集散型の研修は自粛傾向にあったが、ズーム開催の研修や地域主催の会議等に積極的に参加し情報共有を図り関係構築と質の向上を図る。